

浜	6年		
	算数		
学習内容	6月の学習内容 No.14 平面図形の求積(1) No.15 平面図形の求積(2) No.16 相似(1) No.17 相似(2)		
家庭学習ポイント	No.14では、求積の基本公式、高さ見つけ、特別な三角形の高さ、複合図形の求積、特別な分割という5つのテーマを学びます。高さへの着目と見つけ出す技術、特別な分割については教えてもらってすぐに演習に入らないと何度も間違ふことの多いテーマです。しっかりと演習しましょう。No.15は曲線図形の面積です。最難関中では定番の「付け足し」や「等積変形」などさまざまなパターンの問題を演習します。計算力も大切となる分野ですね。「×3,14計算」は「100%正確にできる」くらいの習熟を目指しましょう。No16では、まず縮尺について学びます。相似比が理解できた段階で、具体的に三角形の相似（ちょうちょ型、ピラミッド型）について学び、さまざまな類題で相似比から辺の長さを求める練習です。三角形を3分割する問題についても学習します。No17では、まず直角三角形の相似について学習します。また長方形や正方形を折り曲げる問題も学びます。はみ出した部分にできる三角形がすべて相似形になるもので、入試頻出です。その他、太陽の光による影、電灯による立体的な影の問題も難関校では「定番」の出題ですね。		
課題の把握と解決策	チェック1	外角定理を使いこなせていますか？	チェック
	解決策	今回学ぶテーマの中でも、曖昧にしていまいがちな外角定理は頻出です。きちんと身につけましょう	□
	チェック2	意味のある補助線が引けていますか？	チェック
	解決策	手当たり次第に線を引いて見つけようとするのではなく、意図をもって補助線を引きましょう	□
	チェック3	「×3,14」の計算が正確にできていますか？	チェック
	解決策	「ほぼ100%正確にできる」くらいのレベルに達することを目標としましょう	□
	チェック4	三角形の「ちょうちょ」「ピラミッド」相似をマスターしましたか？	チェック
	解決策	いずれも「相似な三角形どうしをくらべている」ということを忘れないようにしましょう	□
	チェック5	長方形の折り返し問題の辺の長さの比で、混乱していませんか？	チェック
解決策	相似形がたくさん出てくるので、対応する角煮○・△・×など記号を打つのがお約束です	□	
浜	6年		
	国語		
学習内容	6月の学習内容 韻文のまとめ 類義語・反対語・ことわざ・慣用句 語句の意味と用法 説明的文章・文学的文章		
家庭学習ポイント	韻文のまとめでは、ここまで学んできた韻文について、学習のポイントをもう一度読み返してから問題にあたります。表現技法については文章題の理解を深めることにもなりますので丁寧に読み返してみましよう。知識分野の達人では文法事項や語彙、語句についても理解を深めていきます。 家庭学習用の「合格完成への道」を使って、文章題の解法確認、漢字、語句の知識の確認も丁寧に行いましょう。この時期算数と理科の学習に負荷がかかり国語をおざなりに済ませてしまうことが多いですが、知識を確認する作業は怠らないようにしておきたいところです。		
課題の把握と解決策	チェック1	季語の季節を正しく言えますか？	チェック
	解決策	旧暦の季節感を踏まえた上で、分からない季語については調べておきましょう	□
	チェック2	俳人と代表作を言えますか？	チェック
	解決策	丸暗記ではなくどんな人がどんな句を詠んだのか、背景も一緒に理解して使える知識にしましょう	□
	チェック3	韻文の表現技法について理解できていますか？	チェック
	解決策	多くの技法がありますが、どんな効果があるのかも一緒に確認しておきましょう	□
	チェック4	自分の得意な文種、苦手な文種を把握していますか？	チェック
	解決策	苦手な文種については「夏までのテコ入れ」を考えてもいいですね	□
	チェック5	説明的文章では「言い換え」「対比」「因果関係」を意識して読んでいますか？	チェック
解決策	読解において「定番の着眼点」です。意識して読んでみましょう	□	

SAPIX	6年		
	理科		
学習内容	6月の学習内容 No.14 水溶液と金属 No.15 酸とアルカリ・中和 No.16 化学総合 No.17 てんびんとてこ		
家庭学習ポイント	No.14「水溶液と金属」は、暗記事項も多く、知識に基づき言葉の式を作ることが求められます。言葉の式ができてしまえば、これまでの学習で作業してきた方法が使えますので、まずは化学反応によって何ができるのかといった知識を正しくつけてしまいましょう。No.15では、水溶液の性質に着目し「酸性・中性・アルカリ性」に分類します。また中和計算も扱います。問題のレベルは入試問題に近いものになっています。No.16「化学総合」ではNo15までに引き続き、酸性・中性・アルカリ性など水溶液の性質に関するものから中和計算まで、化学計算問題の総合的な演習になります。化学分野においては、他の分野にも活用できる「比例計算」のオンパレード。しっかり書いて「何倍か」を考え計算しましょう。No17からは物理、力学分野の学習に入ります。No17は「てんびんとてこ」で、てこの基本的な釣り合いについて学習します。		
課題の把握と解決策	チェック1	気体発生の問題で、グラフの読み取りができていますか？	チェック
	解決策	グラフや表は正解へのヒントがたくさん隠されています。ポイントは「変化している点」です	□
	チェック2	燃焼、中和の問題において、「言葉の式」を使いこなせていますか？	チェック
	解決策	化学反応式を使いこなすことが求められます。何と何が反応し何ができるかを正しく覚えましょう	□
	チェック3	溶解度計算では。解ききるまで集中力を持続できていますか？	チェック
	解決策	計算力だけでなく、集中力も物を言う単元が「溶解度計算」です	□
	チェック4	気体の発生の問題で、金属、水溶液のどちらが余るのか判断できますか？	チェック
	解決策	言葉の式を作ったあと、余りができるのがどちらなのかの判断は倍率の確認で行いましょう	□
	チェック5	中和計算では「あまるもの」を意識できていますか	チェック
解決策	過不足なく反応する物質と「あまるもの」をしっかり意識できていれば中和計算はOKです	□	
浜学園	6年		
	社会		
学習内容			
家庭学習ポイント			
課題の把握と解決策			チェック
			□
			チェック
			□
			チェック
			□
			チェック
			□
			チェック